

## 2 学業成績の評価と発表

日本大学は、厳格な成績評価、綿密な履修指導による卒業生の質の保証等を目的とし、GPA（Grade Point Average：グレード・ポイント・アベレージ）による成績評価制度を導入しています。

### ① GPAの算出

GPAは学生の成績状況を知るための基準として、科目ごとの成績評価及び卒業までの修得単位数とあわせて利用されます。

GPAはあなたが履修した科目ごとに確定した成績評価（S・A・B・C・D・E）に応じたグレード・ポイント（係数）を合計し、平均化したものです。

#### [1] 成績評価基準

表Ⅲ-1 成績評価基準

		素点	評価	係数	内容	成績開示
成績判定あり	合格	100～90点	S	4	特に優れた成績を示したもの	S
		89～80点	A	3	優れた成績を示したもの	A
		79～70点	B	2	妥当と認められたもの	B
		69～60点	C	1	合格と認められるための成績を示したもの	C
	不合格	59点以下	D	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの	—
成績判定なし		—	E	0	履修登録したが、定期試験またはこれに準じる授業内試験・レポート試験等を受けていないもの、ならびに出席不良により成績判定できないもの	—
		—	P	—	履修登録後、所定の中止手続きを取ったもの	—
		—	N	—	修得単位として認定になったもの	N

#### [2] GPA計算式

各科目担当教員から提出された素点を基に評価を確定し、その評価に該当する係数に各科目の単位数を掛けた結果をポイントとします。各科目のポイント数総計を総履修単位数（D評価及びE評価の単位数を含む）で割った結果をGPAとし、小数点第3位以下を四捨五入し、小数点第2位までを有効とします。

なお、P（履修中止）、N（認定科目）はGPAに算入しません。

$$\frac{(4 \times S \text{ 評価の修得単位数計}) + (3 \times A \text{ 評価の修得単位数計}) + (2 \times B \text{ 評価の修得単位数計}) + (1 \times C \text{ 評価の修得単位数計})}{\text{総履修単位数 (評価D, 評価Eの単位数を含む)}}$$

#### [3] 対象となる授業科目

GPA算出の対象科目は、卒業に係る授業科目のみを対象とします。

（教職課程 教職関係科目（本要覧33頁「表Ⅱ-1 教職関係科目の履修年次」に示された科目）は除く）